

はじめに — 進路行事もコロナ禍で見直しを求められた1年 —

今年度はコロナ禍が進路指導部の行事にも大きな陰を落とし、1学期に予定していたガイダンスやワークショップは中止を余儀なくされました。最も影響を受けたのは就職関係で、日程は全て1ヶ月ずれ込みました。求人票公開は7月1日より始まりましたが、地元求人数は公開初日で前年の約7割程度にとどまり、コロナ禍の影響が避けられない見通しとなりました。しかし、そのような状況でも感染対策を徹底して進路実現を目指し、前向きに取り組まなければなりません。この「小名高進路だより」も中々発行できずにいましたが、最後の「進路だより」として、2学期以降実施した3年生の就職や進学の実験、1、2年生の進路支援行事などを振り返ってみたいと思います。

令和2年求人状況 — 接客、販売系職種で減少 —

今年度の地元企業の求人件数(職種別)は12月末現在で576件となり、前年681件を約100件程下回りました。この数年求人数は高い水準で推移していたことから、明らかにコロナ禍の影響が見受けられます。

令和2年 福島県新規高卒者の
産業・職業別求人状況 (11月末現在)

産業別・職業別	項目	2年度	元年度	前年比
産業別	製造業	2,594	3,600	▲27.9%
	卸売業・小売業	1,231	1,470	▲16.3%
	宿泊業	136	305	▲55.4%
	飲食サービス業	127	214	▲40.7%
	生活関連サービス業、娯楽業	187	312	▲40.1%
職業別	事務的職業	576	751	▲23.3%
	販売の職業	995	1,156	▲13.9%
	サービスの職業	1,124	1,558	▲27.9%
	製造の職業	2,612	3,521	▲25.8%

(単位：人)

地元求人数前年比較 (令和2年12月末現在)

項目	2年度	元年度	前年比
求人票公開企業数	442	521	▲15.2%
職種別求人件数	576	681	▲15.4%
求 人 数	1,893	2,523	▲25.0%

特に産業別の飲食、宿泊系のサービス業や接客・販売系の求人数は昨年の約半数まで減少し、本校では例年希望が多い職種のため影響は大きく、複数の職種を視野に入れて就職活動を進める必要がありました。参考までに福島労働局から公表された新規高卒者の産業別・職業別求人状況から関連の情報を抜粋してみます。左の図表のように、県内においても明らかに減少していることがわかります。

最も懸念されることは来年度、令和3年度の求人はどれだけ影響を受けるかということになります。コロナ禍がどの程度収束に向かい、特にサービス、接客・販売系業種がどれだけ回復していくのか、その動向を今から注視していく必要があります。

新しい大学入試制度 — 推薦入試にも学力テストが！ —

今年度より新しい大学入試制度による入試となりました。AO入試と推薦入試の主な変更点をまとめてみます。

【AO入試】名称が「総合型選抜」と変わりました。ただ、AO入試の名称は定着しているため、当分は通称として扱われそうです。実際に今年度の入試要項では入試区分をAO入試としていた大学や専門学校も少なくありません。出願時期については私立大や専門学校は、6月～9月頃にエントリーを行い、面談や試験は、7月～9月のオープンキャンパスと同じ時期になります。合格発表や出願時期は8月からとなり、大きな変更はありません。なお、総合型選抜の出願期間がこれまでの8月から9月に変更になると発表されましたが、該当するのは国公立大学のみとなります。総合型選抜の出願はオープンキャンパスの参加が重要となります。オープンキャンパス参加の有無や参加後の感想文の提出が出願条件となる場合があるため注意が必要です。

【推薦入試】名称が「学校推薦型選抜」となりましたが、これまでの推薦入試で考えて間違いありません。従来の大学側が受け入れる高校を指定する「指定校推薦」、大学側が定めた出願条件を満たせばどの高校からでも出願できる「公募推薦」といった制度も継続されます。また、出願時期は11月以降と昨年までと変更はありません。推薦入試で大きく変わった点は図表の通り学力検査が必ず課されるということです。図表にある口頭試問とは専門的な基礎知識などを確認するために面接で行われる質疑応答形式の試験のことを言います。出願書類の中で特に重要な推薦書と調査書は担任が用意します。特に担任が作成する調査書は「学習における特徴」、

	昨年度まで 推薦入試 (公募制・指定校制)	2020年度から 学校推薦型選抜
学 力 検 査	原則なし (公募制では小論文が課せられる)	⇒ 小論文、プレゼン、口頭試問、実技、教科に係る基礎テストなどを実施する。また、資格・検定試験の成績を評価対象とする。
調 査 書	評定平均、特別活動の記録などを簡潔に記載、A4サイズ2枚まで	⇒ 評定平均、特別活動の記録などを詳細に記す。枚数制限なし
推 薦 書	提出が一般的	⇒ 提出は必須、推薦する生徒の学力や活動実績等を詳細に記す。

「行動の特徴」、「部活動、ボランティア活動等」、「資格・検定」、「表彰」など細かく記載するようになっています。普段から学習活動は言うまでもなく、部活動、委員会活動、生徒会活動など日々の取り組みがいかに大切なものになっているかがわかります。頑張った生徒をきちんと評価しようというしくみです。頑張って取り組んだ資格検定試験、部活動、そして進路行事や学校行事もポートフォリオノートに記録しておき、来る出願時に備えましょう。

「行動の特徴」、「部活動、ボランティア活動等」、「資格・検定」、「表彰」など細かく記載するようになっています。普段から学習活動は言うまでもなく、部活動、委員会活動、生徒会活動など日々の取り組みがいかに大切なものになっているかがわかります。頑張った生徒をきちんと評価しようというしくみです。頑張って取り組んだ資格検定試験、部活動、そして進路行事や学校行事もポートフォリオノートに記録しておき、来る出願時に備えましょう。

卒業生の進路最終報告 — 高看合格、事務職複数合格、希望者全員就職内定！ —

3月1日現在、卒業生の進路は、進学合格者22名、就職内定者38名となり決定しました。

進 学

令和2年度卒業生進路先一覧

令和3年3月1日現在

	学 校 名	学部・学科	人数	学 校 名	学部・学科	人数
大学	医療創生大学	健康医療学部・理学療法学科	1	東日本国際大学	健康福祉学部・社会福祉学科	1
	医療創生大学	看護学部・看護学科	1	東日本国際大学	経済経営学部・経済経営学科	2
短大	いわき短期大学	幼児教育学科	2	ヤマザキ動物看護専門職短期大学	動物トータルケア学科	1
専門 学校	iwakiヘアメイクアカデミー	美容科	2	東日本航空専門学校	航空機整備科	1
	国際アート&デザイン大学校	コミックイラスト科	1	東日本航空専門学校	空港エンジニア科	1
	首都医校専門学校	看護学部実践看護Ⅰ学科	1	日本工学院専門学校	コンサート・イベント学科	1
	神戸医療福祉専門学校	作業療法士科	1	いわき准看護学校		1
	仙台大原簿記情報公務員専門学校	税理士会計士学科	1	報徳看護専門学校	看護学科	1
	早稲田美容専門学校	美容科	1	松村看護専門学校		1
	大宮ビューティー&ブライダル	ヘアメイク学科	1			
			計	22		

就 職

	企 業 名	職種	人数	企 業 名	職種	人数
事業 所 (県内)	アートコーポレーション(株)	生産職助手(引越作業員)	1	㈱KOHATAホールディングス	エニタイムフィットネススタッフ	1
	アイパル(株)	事務(グランパルティいわき)	1	関東資材(株)いわき営業所	事務職	1
	イオンリテール(株)東北事業本部	接客販売	1	居酒屋 赤とんぼ	ホール・フード他	1
	ゼネラルフィットネス(株)	接客及び運動指導スタッフ	1	高瀬物産(株)	総合職	1
	トヨタカラー(株)いわき(株)	自動車整備士	1	社会福祉法人 楽寿会	介護職(特別養護老人ホーム楽寿荘)	1
	ひろのプログレス合同会社	ホテルスタッフ「総合職」	1	正栄工業(株)いわき工場	プレス部品製造・金型の設計・製作	1
	永大小名浜(株)	製造ラインオペレーター	1	相双五城信用組合	金融事務	1
	(株)anvi	美容師	1	東新工業(株)いわき好間工場	検査職	1
	(株)ありがとうカンパニー	調理・接客・シフト管理等	1	東部瓦斯(株)福島支社 平事業所	事務及び顧客管理	1
	(株)ティムティム	ファッションアドバイザー	1	東洋システム(株)	事務職	1
	(株)マルト	販売職	1	南産業(株)	木工家具製造	1
	(株)ユニイ	パン、菓子の製造、販売	1	日産自動車(株)	技能職	1
	(株)宮洋	製造業	1	日総ニフティ(株)いわき在宅介護部	介護職員	1
	(株)小名浜製作所	経理・事務	1	福島さくら農業協同組合	総合職	1
	(株)小名浜包装資材	事務職	1	(株)タロサ	調剤薬局事務員	1
	(株)伴助	水産物加工製造	1	(株)タ月	品質業務管理	1
	(株)おおみ	きものアドバイザー	2	根本通商株式会社	ガソリンスタンド店員	1
	(株)ホテル・アルファワン・クリエーションズ	ホテルフロントスタッフ	1	(株)東日本貿易	ネットショップの受注業務	1
	(株)ムラコシ精工LFC事業部勿来工場	総務事務スタッフ	1			
			計	38		

【進学】四年制大学の合格数は5名、短期大学は3名、専門学校は14名となりました。懸念されたコロナ禍の影響も最小限で指定校推薦入試が7名、総合型選抜(AO入試)による合格が2名となりました。今年度より大学は新しい入試制度が始まり、特に推薦入試の中でも指定校制推薦では従来は面接と小論文のみであった試験も、口頭試問や総合問題が課せられました。また、今年は高等看護学校に2名受験し、見事合格しました。公募推薦と指定校推薦による合格です。看護学校の公募推薦合格は3年ぶりとなりました。看護学校希望は毎年一定数いましたが、高等看護学校への挑戦はここ数年陰を潜めていたため、次につながる大きな合格と言えます。高等看護学校の進学を希望する場合は早めに志望校を定め、できるだけ早く受験対策を始めなければなりません。推薦の小論文は言うまでもなく、一般受験を想定して5教科の学習に力を入れる必要があります。

【就職】今年度はコロナ禍により昨年度までの人手不足による求人数増加傾向から一転して厳しい情勢となり、特に接客、販売、サービス業を中心に求人数が減少したため、これらを希望職種として考えていた生徒は職種の再検討を余儀なくされました。ただ、応募時期や就職試験の日程が1ヶ月遅れることが6月中旬に公式発表があり、結果的に職場見学から応募開始まで十分に検討する時間がとれたため、生徒だけでなく教員側にも精神的なゆとりが生まれました。3年生は学校再開後すぐに始まった就職活動にやや戸惑いながらも職場見学から就職試験まで落ち着いた態度で臨んでいたように感じます。ここで卒業生の就職活動を少し振り返りたいと思います。9月中旬の校内選考会で応募する企業が決まり、就職試験が1ヶ月遅れの10月16日に開始されました。例年になく重い空気の中、生徒は面接の指導を繰り返し受け、過去の受験報告を念入りに調べたり、一般教養の学習を前日まで続けたりして、精一杯の準備をしている姿がありました。最終的に38名の就職希望者全員が内定に至りましたが、全員の内定は決して平坦な道のりではありませんでした。10月の1回目では37名が受験しましたが、内定者は26名にとどまり、特に販売職は内定者が受験者14人中7名と厳しい現実を突きつけられました。原因は複数ありますが、コロナ禍で求人数が少なくなっていることが要因の1つであることには間違いありません。しかし、内定に至らなかった生徒は落ち込んでいるのもつかの間で、気持ちを切り替えて2度目、3度目、中には4度目に挑み、ようやく内定に漕ぎつけたわけです。あきらめずにやり続けた姿勢が最後に報われました。

もう一つ特筆すべき点は事務系の職種(以下、事務職)への応募でした。事務職を希望した商業科11名は最終的に全員が採用されました。内定時期はそれぞれで、最初の応募で決まった人もいれば、3度目でようやく内定を果たした人もいます。中には2月に入ってから採用された人もいます。それぞれ事情は違いますが、共通しているのはいずれも事務職希望を最後まで貫いたことです。事務職は毎年求人数としては少ないため、最初の応募で採用されないで採用枠はなくなり、その後は新規の求人を当てにするしかありません。それでも貫いたのは商業科で3年間学んだという誇りだと思います。採用された著名な企業の中には求人票を一般公開しながらも慣例的に特定の学校とのつながりが強い企業もあり、そのような

応募は苦戦を強いられることは当初より覚悟をしていました。しかし、生徒たちはそのような逆風があっても、所期の目的を果たそうとやるべきことをやり、就職試験当日は他校の生徒にも全く引けを取ることなく立派にやり遂げたのです。企業の人事担当者からも高い評価をいただき、中には当初の採用予定数を変えて本校の生徒の採用に踏み切ったと言ってくれた企業もありました。本校の人財が地域、そして地元企業からきちんと評価されてきていることを実感した瞬間でした。

最後に、卒業生が内定に至らなかった時の理由をいくつか今後のために触れておきたいと思います。1つ目が欠席日数です。3年間の欠席日数が多かった人は就職試験では苦労をします。面接でどんな理由を言おうとも数字は嘘をつきません。2つ目がコミュニケーション能力です。企業は採用選考時に最も重視しているため、面接では必ず試されます。面接試験が原因で不採用となったケースでは、通知のタイミングで人事担当者より苦言を頂いたこともありました。これも普段から意識してやらなければ備えることはできません。あいさつや返事、そして素直な態度、これらが基本です。

今年度の主な進路行事報告 — 1 学年進路支援行事

～7.30 就職ガイダンス、10.2 ジョブサポーター講話、11.12 仕事人の話を聞いてみよう、1.28 就職への道案内

1学期末からコロナ感染がやや収まり、落ち着きを取り戻してきたため、1年生の進路行事が予定通り行われました。1つ目はキャリア形成支援事業就職ガイダンスです。講師の齋藤さんは「社会では人にきちんと反応するということが大切である。話になづく、相づちをする、返事をするなどで良好な人間関係を築くことができる」と言う。2つ目はハローワークいわきのジョブサポーター職業講話です。草野さんより昨年度の就職状況や企業が求める人材など有意義な職業講話をしていただきました。講話の中で企業が重視しているものの中で「コミュニケーション能力」が最も高いことが改めて示されました。また、「自分の性格ややりたいことをノートに書いて自己分析をしてみたり、家族や友人に自分では気づかない自分を教えてもらったり、将来の自分の描いてみたいりするなど『自分を知ること』が大切である。それが面接試験で自分の良いところをアピールする自己PRにつながる」と話していました。3つ目は仕事人の話を聞いてみようです。これは地元で活躍している「仕事人」を講師に迎えてお話をいただく支援事業で、今回は勿来十条製紙工(株)の末窪さん、北都オーディオ(株)の田中さんより講話をいただきました。勿来十条製紙工(株)の末窪さんは本校商業科の卒業生で元々製造職で就職しましたが、勤務態度が評価され、1年後に事務職に異動となりました。在学中に取得した資格・検定を活かすことができ、とてもやりがいを感じていると言う。「高校生活は後悔しないように過ごしてほしい。部活動にも全力で取り組んでほしい。」とエールを送ってくれました。北都オーディオ(株)製造部マネージャーの田中さんは「人の言うことを受け入れること。そして話を理解する力を高めることが大切だ。また、自分の考えをしっかりと持ち、自分の思いを伝えられるようにすることも大切だ。」と助言してくれました。4つ目は就職への道案内です。自分に合った職業に就くにはどうしたらよいか、早期離職しないようにするにはどうすべきかをテーマに、自分自身はどのような職業に向いているかを客観的に診断する適職診断を実施していただきました。

企業が求める人材とは...

- ① コミュニケーション能力
- ② 協調性
- ③ 積極性・チャレンジ精神
- ④ 基本的な生活態度
- ⑤ 職業観/就労意欲



いずれの講話やガイダンスでも感じ取れる共通点が多く、普段の学校生活で実践できることが多いと感じます。学校生活で何か自分自身を変えてやってみようという気持ちにぜひなしてほしいと感じます。

ジュニア・インターンシップ — 地域で存在感をアピール！ —

2年生のジュニア・インターンシップが12月9日から3日間、感染防止対策を徹底しながら市内の事業所やいわき市役所、支所、公民館、保育所等で行われました。コロナ禍のため開始まで予断を許さない状況が続きましたが、無事3日間、ひとりの欠席者もなく生徒はそれぞれの実習地で就労体験をやり遂げ、終了後、事業所の担当者より個別に評価をいただきました。全般的に「真面目な態度で取り組んでいた」「明るく元気よく作業を行っていた」等のコメントが多く、非常に成果があったと感じます。中には「その日の反省をしっかりとやり、翌日には改善しようと努力していた」とような評価が複数あり、反省点を次に活かし、改善しようとしていたことがわかりました。また、「分からない時は、自分から聞いて解決しようとする姿があった」という評価もいくつかあり、自ら解決しようとする態度が表れていたと感じます。さらに「自発的に作業に当たっていた」「率先して取り組んでいた」などの評価もあり、自ら考えて行動しようとする姿勢が感じ取れました。コミュニケーション力の高さを感じさせる評価も少なくありません。「相手の目を見て話を聞いていた」「礼儀正しく、挨拶と言葉遣いはとても丁寧」「こちらからの言葉の投げかけに、よく反応していた」など担当の方々よりきめ細かく大変嬉しく感じる評価をいただきました。評価を下のようにまとめましたので参考にしてください。概ね良好と感じます。ただ、「あいさつ」と「積極性」が全体の中ではやや低めで、評価の中で指摘された内容もその項目が最も多く「もっと積極的に取り組んでほしい」や「あいさつを元気に、相手に伝わるように」などコミュニケーション力不足を指摘された評価も複数ありました。そうした態度や姿勢は基本的に学校生活の中でぜひ育ててください。挨拶や返事は日々の生活でできるはずです。また、毎日行う掃除なども自ら進んで取り組むようにしましょう。



評価概要	実習姿勢					人物評価				平均
	出勤状況	あいさつ	言葉遣い	実習動作	実習態度	積極性	責任感	根気強さ	協調性	
項目別平均値	4.0	3.3	3.5	3.5	3.5	3.4	3.6	3.6	3.7	3.5

※回答事業所 22社

出勤状況【4 良好 / 3 遅刻有り / 2 早退あり / 1 欠勤あり】

その他【4 非常に良い / 3 良い / 2 やや悪い / 1 悪い】

今回はコロナウイルス感染のため当初受け入れを見込んだ事業所が少なく、準備段階で大変苦慮し、また更なる感染拡大により受入辞退を覚悟しながら例年になく不安な中で準備を進めました。幸い、受け入れてくださった事業所、市の各部署の温かいご支援とご理解により、無事終えることができたことに改めてお礼申し上げたいと思います。



2 学年進路支援行事 ～2.18 いわきの“職”体感ツアー、2.22 就職ガイダンス、2.26 地元企業説明会

3学期に2年生の進路支援行事が3つ行われました。1つ目はいわき市の支援事業、本校では毎年参加しているいわきの“職”体感ツアーです。コロナ禍のためクラス別に2社を午前、午後に分けて見学しました。1社目はスマホなど電子部品の



のフープめっき加工において業界をリードしている企業、東新工業(株)の四倉工場です。会社概要の説明後、小グループで工場内の製造過程を見学しましたが、行く先々で社員の方々のはつらつとしたあいさつがとても印象的でした。これは会社の方針でもあり、コミュニケーションの大切さは唱えるだけでなく、社員全員が実践していることにとても驚きました。2社目は小名浜港湾事務所、国土交通省が管轄し、県の重要港湾である相馬港や小名浜港の整備を担当し、さらに港湾の保安や防災に関する業務を行っている重要な機関です。3年前に完成したマリブリッジの歩道散策や埠頭見学などを楽しみました。



支援行事の2つ目は就職ガイダンスです。3年前より実施しているガイダンスで、2年生がまもなく終わるこの時期に実施することができ、とても意義深い行事となりました。講義の中で、表情や身だしなみで第一印象を良くする。あいさつと気遣いの大切さから具体的な面接対策まで基礎から実践的な内容まで講義していただき、来る就職試験に備えた心構えを教えていただきました。



3つ目は地元企業説明会です。毎年参加しているハローワーク主催の行事で、今年はコロナ禍のため企業側の入れ替えで企業説明が行われました。全6社、15分ほどの説明でしたが、事業内容や求める人材など地元企業への理解が少なからず進んだように感じます。まもなく3年生になり、就職活動もやがて始まります。かつての卒業生の中にはこの説明会に参加した企業の話聞いたことがきっかけで就職した人もいました。その会社は常磐共同火力(株)勿来発電所で、職種は事務職でした。

ほぼ1週間で3つの進路支援行事に参加し、進路の意識が少し高まったのではないのでしょうか。これらの経験をぜひ、今後の進路の活動の中で思い出して何かにつなげてもらいたいと思います。

基礎力診断テスト結果 — 自己の成績と向き合おう！ —

1月に実施した第2回基礎力診断テストの成績個票はすでに配られています。再度自分自身の成績と向き合ってください。特に前回のテストと比較し、成績の伸びや苦手な分野はどこかなどをしっかりと検証することが大切です。そして、そこから何をどのようにしていくのか考えなければなりません。2年生はGTZのD3の数が減少し、成績は前回より平均点が約13点上がっています。1年生はD3の数はやや減少しましたが、成績は前回より少し下がっています。OneWeekトライアルの取り組みも「全部やった・復習もした」と答えた人が減少していることも結果に表れていると考えます。2年生はOneWeek「全部やった・復習もした」は前回とほぼ同じ数を保っています。該当者は成績上位者がほとんどのため、成績は向上(維持)しています。全ての生徒が「全部やった・復習もした」となることを切に願います。

項目		1学年	2学年
3教科平均点		160.5点	152.8点
前回よりGTZが上がった生徒		14人	28人
前回よりGTZが下がった生徒		20人	11人
GTZ D3の増減(前回比較)		やや減少	減少
OneWeek Trialの取組	全部やった	前回	67%
	全部やった + 復習もした	今回	60%
	前回	39%	
	今回	40%	

訃報 平成28年度より本校の進路アドバイザーとして5年間お勤めいただいた鈴木高明さんが、先月2月26日にご逝去されました。誠実なお人柄で、一年を通して就職支援のための企業訪問を精力的に行っていました。特に求人や採用については、指定した特定の学校へのみするのではなく、広く公平に機会均等に行ってほしいと訴え、そのたびに企業へ本校生徒の良さをアピールしていただきました。そのお陰でどれだけ多くの卒業生が就職内定につながったことか、少なくともこの5年間、本校生徒の企業採用の下地を作っていたことは間違いありません。統合後もまた一緒にお仕事をさせていただければと思っていたため、本当に残念でなりません。心よりご冥福をお祈りいたします。

終わりに 就職の報告でも触れたように、採用時に地元企業からの信頼や評価が上がってきているのは確かです。しかし、本当の信頼とは何かと考えると、やはり地域産業にどれだけ貢献できるかということになると思います。就職後は永く勤め、本当に信頼される人材となしてほしいと思います。統合後も普通科と商業科への信頼を守らなければなりません。